

# 日本メンテナンス工業会 会報

Japan Association of Maintenance and Service Contractors

通巻

第103号

Vol. 30, No. 1

2019.7

Maintenances  
for the Future

世界をメンテナンスが  
支えています

日本メンテナンス工業会は、  
メンテナンス・サービス企業の同業者団体として  
1990年に設立され、総合、機械、電気、計装など  
各分野の信頼できる企業が会員です。

## JAMSEC News

2019年度 通常総会開催

## 特別記事

第3回日本メンテナンス工業会表彰

### メンテナンスの進化を支える者達

関電プラント株式会社 / アスク・サンシンエンジニアリング株式会社 / 新日本熱学株式会社

### 特集・メンテナンス業界で活躍するリケジョ

食品プラントのMESソリューションエンジニアとして 横河ソリューションサービス株式会社

### 特集・人材育成

在留外国人生徒の人材育成 <都立六郷工科高校> 企画推進委員会

西日本工業大学との連携講座について 教育・研修委員会 / 企画推進委員会

## 技術報告

新エネルギー関連プラントメンテナンス (太陽光・風力) 株式会社明電エンジニアリング

発行：日本メンテナンス工業会

## 目次

[巻頭言]			
『人財育成と新技術 (AI)』	鮫田 芳樹	.....	1
[JAMSEC News]			
2019年度 通常総会開催	.....		2
2019年度 理事会役員	.....		10
2019年度 事業計画	.....		11
委員会活動状況	.....		12
会員各社の動静	.....		17
メンテナンス・レジリエンスTOKYO2019開催報告	.....		18
[特別記事]			
第3回日本メンテナンス工業会表彰	.....		19
第3回日本メンテナンス工業会表彰 表彰式開催	.....		23
[メンテナンスの進化を支える者達]			
新たな事業への取り組み	関電プラント株式会社	高田 浩輝	.....27
安定操業に貢献するメンテナンスを	アスク・サンシンエンジニアリング株式会社	田上 幸正	.....28
メンテナンス事業において設備安定化を目指す点検業務	新日本熱学株式会社	和田 卓也	.....29
[随筆]			
執筆の経験	アズビル株式会社	伊林 洋志	.....30
[Coffee Break]			
東京オリンピックに思う	千代田工商株式会社	杉山 修	.....32
[特集・メンテナンス業界で活躍するリケジョ]			
食品プラントのMESソリューションエンジニアとして	横河ソリューションサービス株式会社	豊村 美絵	.....34
[特集・人材育成]			
在留外国人生徒の人材育成 <都立六郷工科高校>	企画推進委員会	.....	36
西日本工業大学との連携講座について	教育・研修委員会/企画推進委員会	.....	38
[技術報告]			
新エネルギー関連プラントメンテナンス (太陽光・風力)	株式会社明電エンジニアリング	.....	41
[会員会社紹介]			
日鉄テックスエンジ株式会社/富士電機株式会社/株式会社西島製作所/株式会社高田工業所/山九株式会社/株式会社ユウコウ/横河ソリューションサービス株式会社	.....		45
[事務局より]			
西日本工業大学での連携講座の開講 ほか	.....		49
日本メンテナンス工業会 頒布資料申込書	.....		51
日本メンテナンス工業会 会員名簿	.....		52

## ■ 巻頭言 ■



## 「人財育成と新技術 (AI)」

鮫田 芳樹

横河ソリューションサービス株式会社  
取締役常務執行役員

新しい元号「令和」に変わり数か月が経過しました。令和は、日本の古典（万葉集）から初めて選定されたものであり、新しい時代の幕開けを感じさせます。その一方で、プラントメンテナンス業の足元を見てみると、平成から続く人財不足がさらに顕在化しています。ベテランの退職、労働人口の減少、多様化する働き方等、厳しさが増えています。

4月に施行された「働き方改革関連法」のもとでは、プラントメンテナンス業において、時間比例型の現場作業からの脱却を本格的に始めなければならないところまで来ています。

このような状況下において、IoT、AI、ビッグデータ活用等による高度な保全の取り組みを行っている事業所を「スーパー認定事業者」として認定し、8年以下の連続運転が認められる新しい事業者認定制度が施行され、すでにいくつかの事業所が認定を受けています。エンジニアによる現場作業とデータ活用による保全業務支援の組み合わせによるプラントメンテナンス業の新しい形が少しずつ進行しています。弊社は、「プラント見守りソリューション」としてお手伝いしていますが、現場作業もデータ活用も人財スキルに依存する部分が大きく、新しいスキルも含めて、人財確保・育成が今後の重要なポイントになってくると思われます。

三井化学様では、現場の安全体験（挟まれ、酸欠、転落等）だけではなく、シミュレータを利用したプラント操作やバルブからの液漏れ体験等、過去のプラント事故の教訓から学ぶ体験型の訓練センターを

設立し、短期間で有能なエンジニアの育成を図っています。これら講座を自社内に留まらず多くのお客様に公開することで、業界全体での人財育成に寄与されており、弊社も協力しています。

今後、プラントメンテナンス業に従事する人財を増やすためには、工業大学・高専への講師派遣やセミナー開催等への取り組みを拡大させ、認知度向上を図ることが重要になってきます。弊社には、計装機器、制御システムの操作・メンテナンスをはじめ制御技術を習得する目的で多くのお客様が利用しているトレーニングセンター（東京都武蔵野市）があり、学生にも門戸を拡大しています。

また、今後はエンジニアの活動のひとつに診断業務が想定されるため、スキルセットの変革にも着手する必要があります。さらに、エンジニアの能力では補えない部分に対するIoT、AIに関連する技術習得、活用を併せて加速させる必要があります。

各種センサーのデジタル化技術とIoT、AI等の診断技術が実用可能となり、ここに保全ノウハウを活用した相乗効果により、長年解決できなかったトラブル事象が解決できた事例が出てきています。

このように技術革新と人財育成の両輪で、初めて有益なものになると確信しています。

今後は、安全で安心かつ、長期安定稼働を実現し、グローバル競争力を備えたプラントをお客様とともに確立すべく、工業会会員企業の皆様方との共創環境を構築して、プラント診断範囲の拡大を図っていければと考えています。